

学校の状況と地域の感染状況

3月に定めたCJSの授業開始の指標は以下の通り。

- ①教職員・児童生徒・保護者及び同居の家族にコロナウィルス感染者がいないこと
- ②日本及びインドネシア両政府からの休校等の通達がないこと
- ③学校としての最低限度の指導体制が確立できること

インドネシア政府からはグリーンゾーン地域以外は非対面型(自宅オンライン学習等)での教育を行う方針で、年内はオンライン授業継続と言われています。逆に対面型の授業開始の条件はグリーンゾーン(=感染者がいない)であることを意味しています。

西ジャワ州では今後の社会的制限はPSBM(地区単位での制限)とする旨の通達を出しています。そこで、CJSで対面授業を開始する基準として地区単位の感染者数で判断することにします。具体的には学校の位置する中央チカラン地区の一週間の感染者数が0.5名程度を基準とします。

